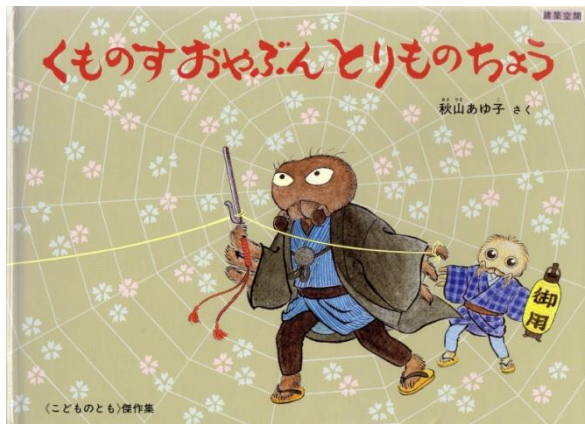


末岡 光代 様

読んだ本の書名：「くものすおやぶんとりものちょう」

(秋山 あゆ子 作 福音館書店 2005)



私は、くもは気持ちが悪くて好きではないのですが、この絵本のくもは着物を着ているのでグロテスクな容姿がかくれて楽しめました。それぞれの昆虫の特長を活かした着物姿は大変おもしろいです。

ありのお屋敷がどうなっているのかがよくわかるページは、伝統的な日本家屋の室内が調度品とともに描かれていて、非常に楽しいページです。まるで時代劇の映画のセットをながめているようです。床の間、仏間、欄間、しょうじやふすまなどの部屋と廊下でつながれた台所、風呂、トイレなどが別棟になっているのですね。「和風」という言葉にひとくりにされる日本の伝統的な暮らしを支える「すまい」の基本を天井の上からながめることができますので、非常に興味深いシーンです。

